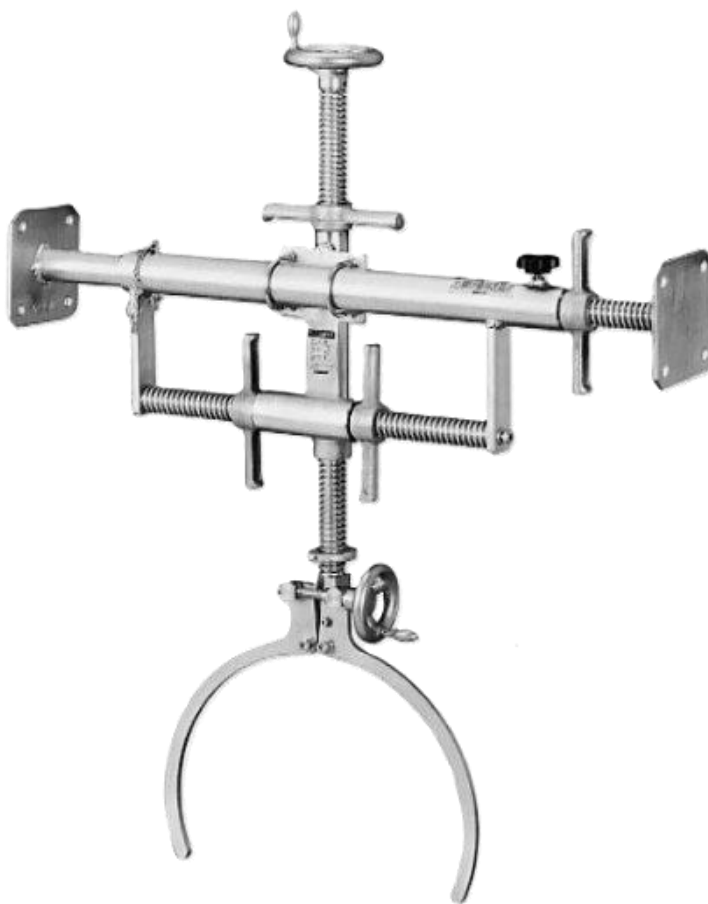


# 配管サポート

## 取扱説明書



SAN・KYO

## ＜配管サポート取扱い説明書＞

この度は（株）サンキョウ・トレーディング製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。

この取扱い説明書は製品を正しく御使用頂き安全な作業を行う為に、必ずお読み下さい。内容を御理解し御使用を御願い致します。

尚、別途添付の『取扱い注意書・警告書』も必ずお読み下さい。毎作業時には本説明書を確認出来るように大切に保管して下さい。

**【用途】** 下水道用塩ビパイプ埋設工事

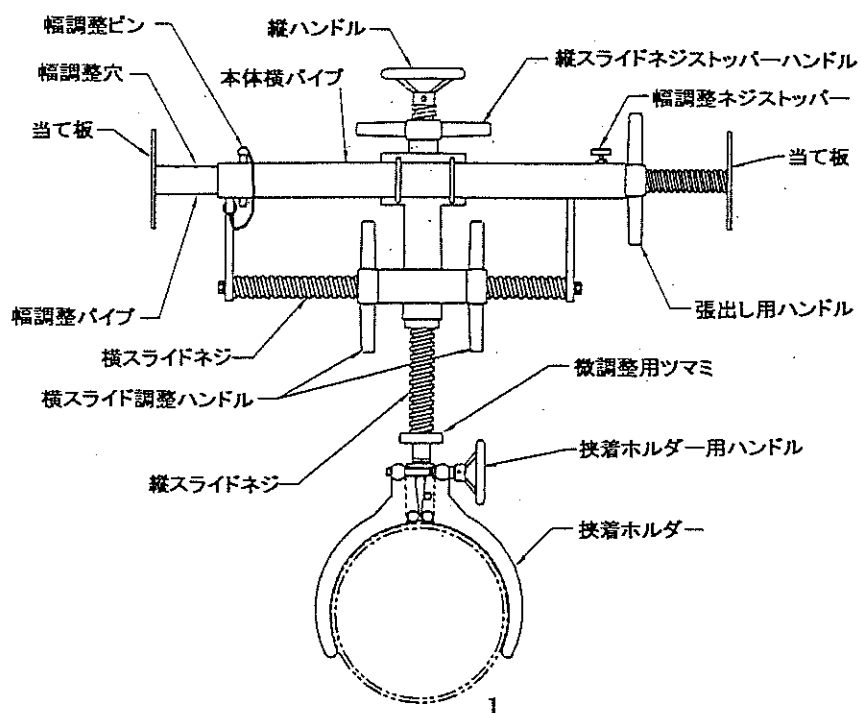
**【仕様】**

セット巾	550～1,250mm
左右移動距離	235 mm
縦移動距離	200 mm
適応塩ビパイプ	呼径 150・200・250・300
自重	12kg

### 【本機使用によるメリット】

- 1, 管（管口）の位置調整が楽に確実に出来る。
- 2, 官口の調整、固定が出来るためマクラ、土のうの必要が無い。
- 3, マクラの必要が無いため埋め戻し後、管底に凸凹が起こらない。
- 4, 管口が所定の位置にしっかり固定されるので、管側部の埋め戻しの際に管口が移動する事が無い。
- 5, 管口が固定されているため胴締めがしっかり出来る。
- 6, 管口が固定されているため管の反りを目視しながら矯正出来る。
- 7, レーザー使用の場合であれば一人でも調整作業が可能。
- 8, 特に、埋設溝に水が出るような現場はその威力を発揮します。

### 各部の名称

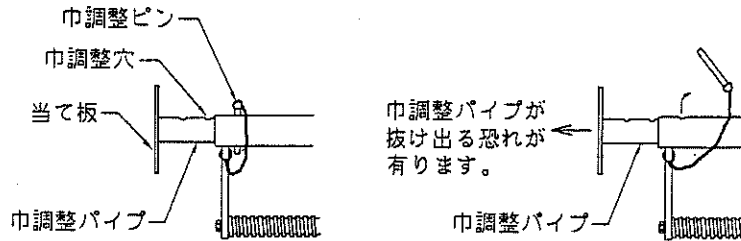


## △ 本体持ち運び時の注意

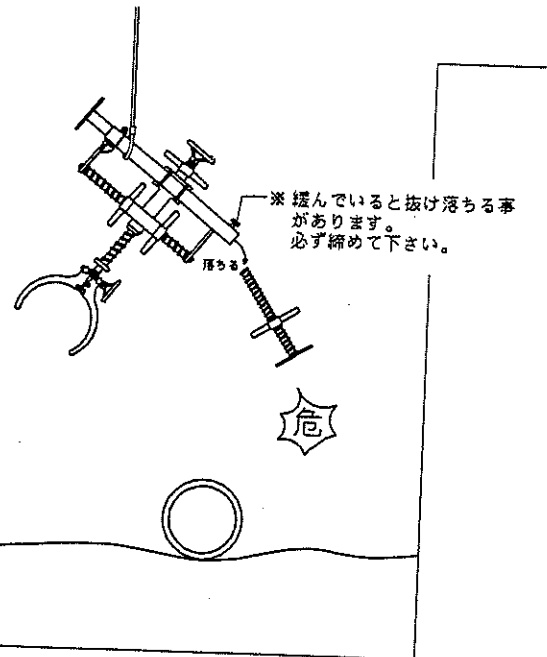
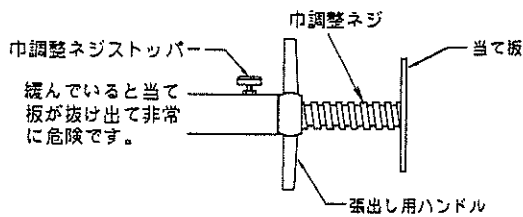
本体持ち運びには、下記事項に十分注意して下さい。

注意を怠ると、巾調整パイプや張出ネジ棒が抜け落ちて、重大な事故につながる恐れがあります。

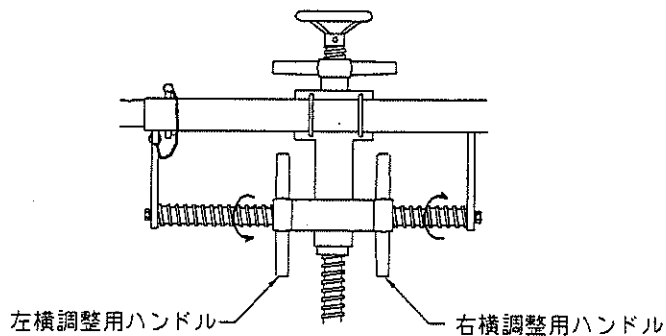
### 1. 巾調整ピンが確実に入っているか？



### 2. 巾調整ネジストッパーが締めてあるか？



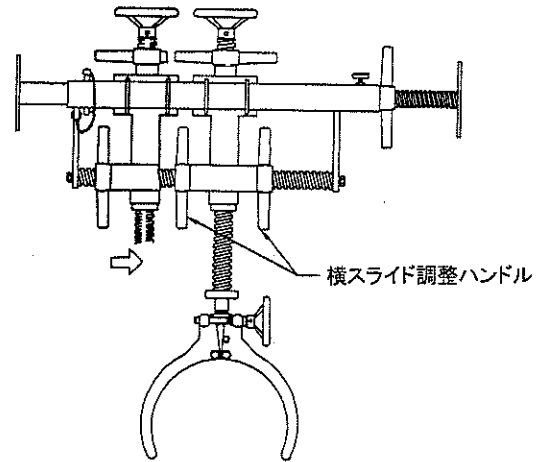
### 3. 横スライド調整ネジが左右共締まっているか？



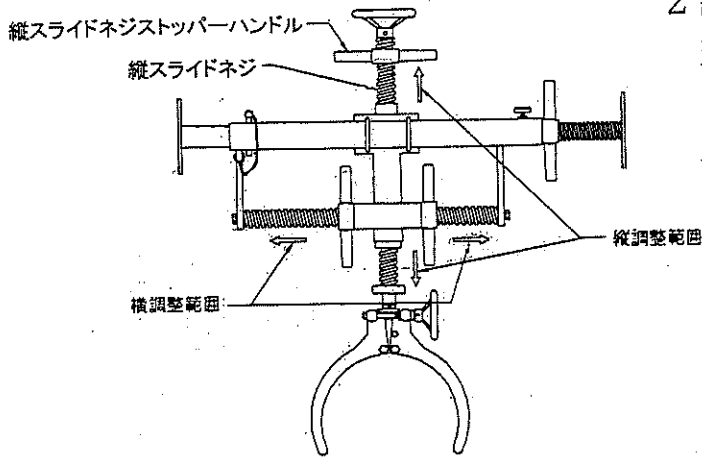
## I セット前の準備

- 1 横スライド調整用ハンドルを廻し、緩めて、縦スライドネジが本体の中心にくるように移動し、再びハンドルで固定しておく。

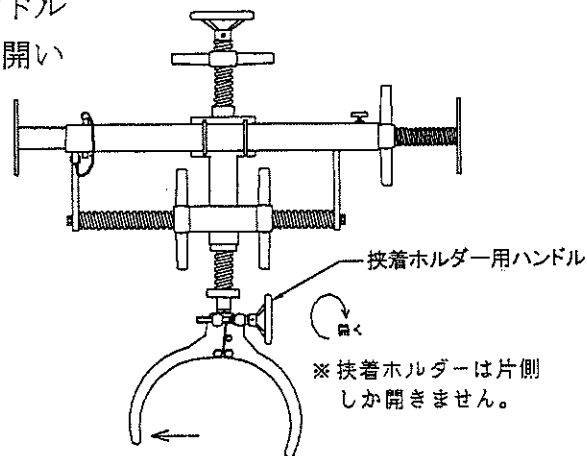
⇒ 中心の位置まで移動し固定しておく。



- 2 縦スライドネジは、縦ハンドルを廻して上下の調整の出来るように、中心に来るようにしておく。又、縦スライドネジストッパーハンドルは上に上げておく。



- 3 挟着ホルダー用ハンドルを廻し、ホルダーを開いておく。



- 4 埋設する管の口径に合った挟着ホルダーに交換しておく。  
(呼び径、150、200、250、300)

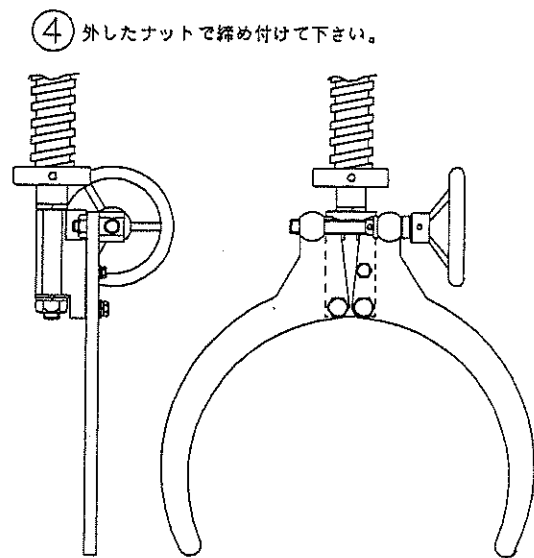
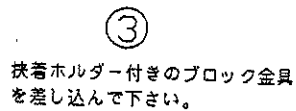
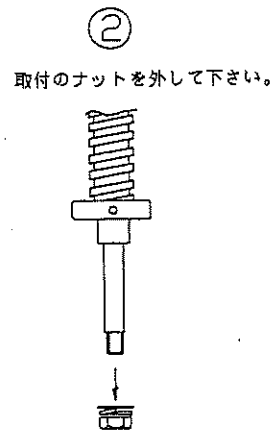
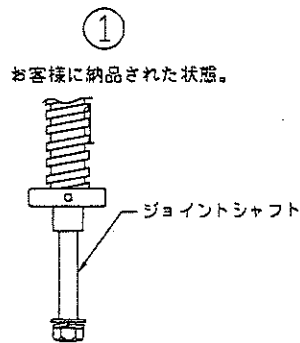
## ★挟着ホルダーの取付及び交換方法

### 取付

- 1, 挟着ホルダー取付ナットを外す。……②の図
- 2, ジョイントシャフトに埋設管に適合した挟着ホルダーを差込む。…③の図
- 3, 挟着ホルダー取付ナットで締める。……④の図

### 交換

- 1, 挟着ホルダー取付けナットを外す。
- 2, 挟着ホルダーを下に抜き, 外す。
- 3, 交換する挟着ホルダーを付ける。
- 4, 挟着ホルダー取付ナットを締める。

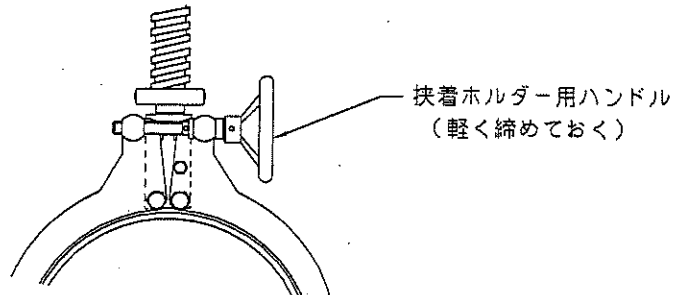


II, セット方法 (埋設溝への搬出入は, 2 ページの「本体持ち運び時の注意」に従って下さい。)

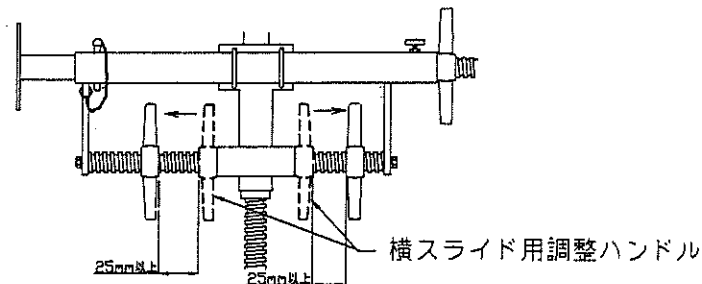
注意: 本機セットに当たって注意する事。

- ◇ 管の接続後に本機をセットする事。
- ◇ 管口はある程度設計上指示されている位置におくこと。
- ◇ 突っ張りバーはなるべく水平になるようセットする事。

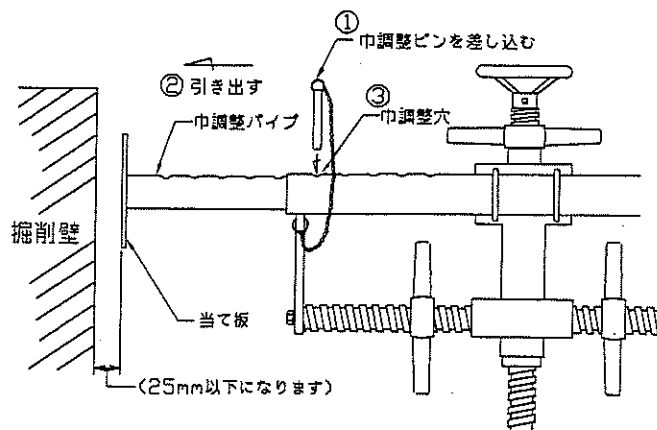
- 1 挟着アームを管上に乗せ, 挟着アーム用ハンドルを廻し, アームが動く程度に, 管を軽く締めておく。(後の作業にとっても重要です)



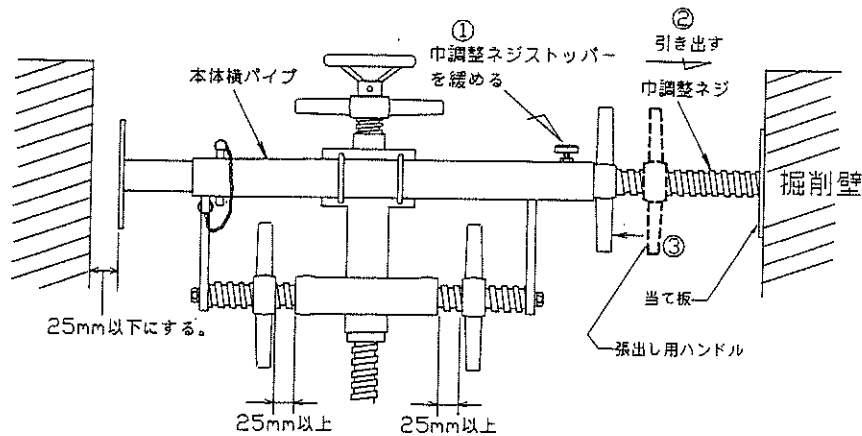
- 2 横スライド調整用ハンドルを緩め, 左右に移動しておく。(必ず行って下さい, 怠るとセット出来ません)



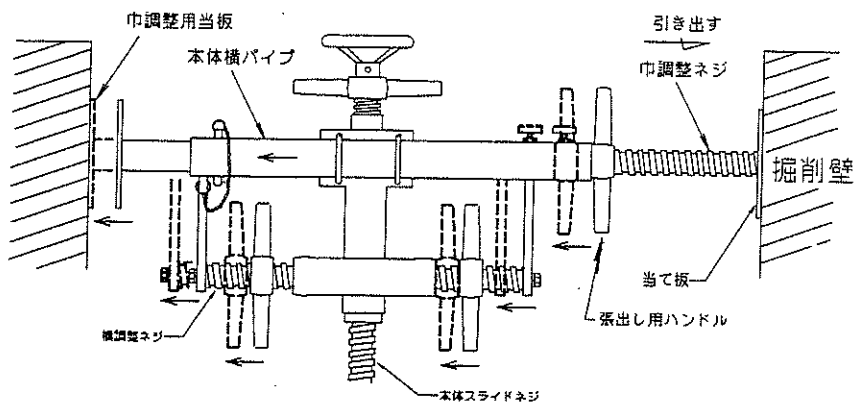
- 3 ①巾調整ピンを外し, ②巾調整パイプを引出し, ③当板が掘削壁に, より近くなるような巾調整穴を探して差し込む。(調整ピッチ 25mm)



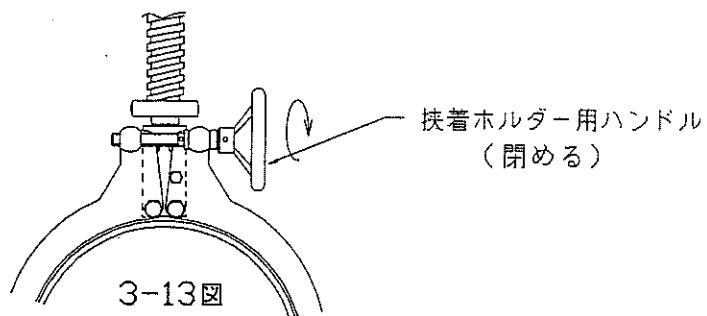
- 4 ①巾調整ネジストッパーを緩めて、②巾調整ネジを引き出し、③当て板を掘削壁に突き当てたまま、張り出し用ハンドルを本体横パイプに当たるまで廻し戻す。



更に張り出し用ハンドルを廻して、巾調整側の当て板を掘削壁に当てる。当接したら本体横パイプの水平を確認してしっかり固定するまで廻す。



- 5 挟着アーム用ハンドルを廻し、挟着アームで管をしっかり固定する。

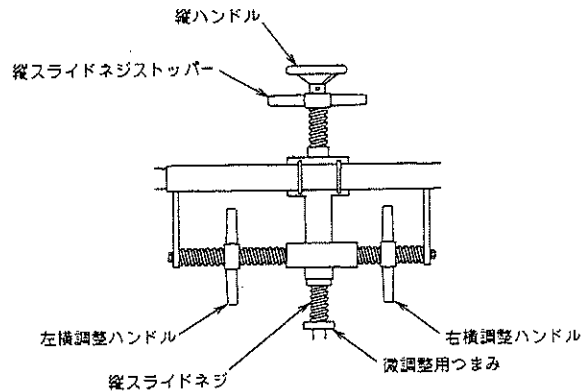


3-13図

### III.調整,固定方法

管の設置位置は深さ横方向の位置が指定されています。その指定された位置は、丁張りによる道糸又は管内レーザーにより指示されています。その指示に従い管口を移動調整し、その位置を保たなくてはなりません。そこで移動調整をした後、「その位置を保つ為」に生まれたのが配管サポートです。

★調整部の各名称（下図参照）



1,先に管を横方向へ移動する。

① 管を左に移動する

- 下図 a の様に左側の調整ハンドルを、管を移動したい距離分以上あげておく。
- 下図 b の様に右側のハンドルを時計方向に回し、指示された位置まで移動する。
- 下図 c の様に左側のハンドルを回し戻しその位置で固定する。

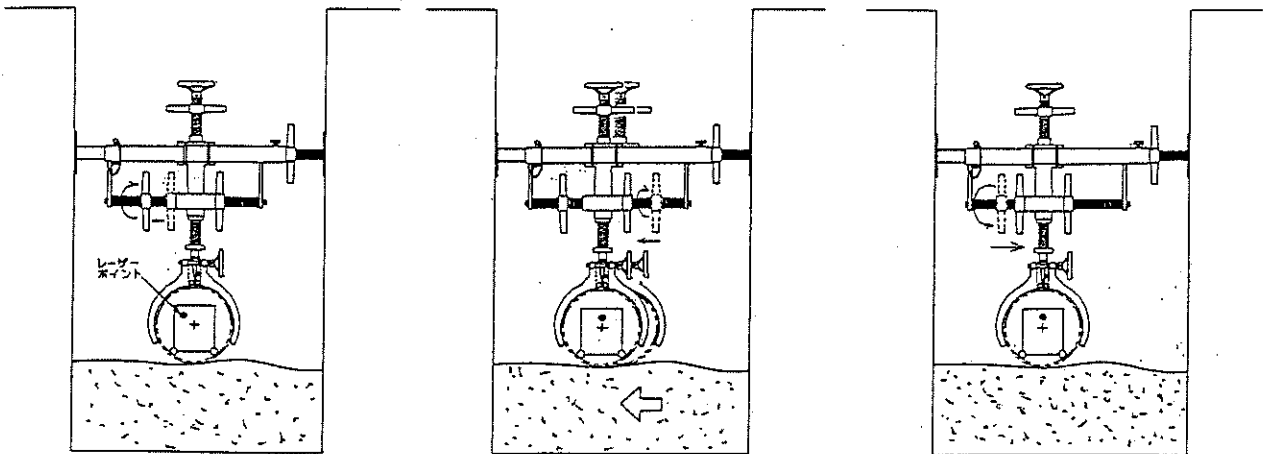


図 a

図 b

図 c

② 管を右に移動する

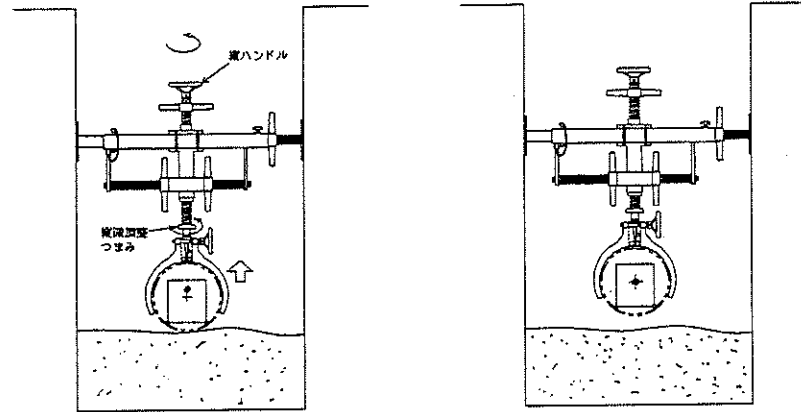
- 右側の調整ハンドルを移動したい距離分以上緩めておく。
- ①と左右反対の作業を行って下さい。



## 2. 管を上下方向へ移動する

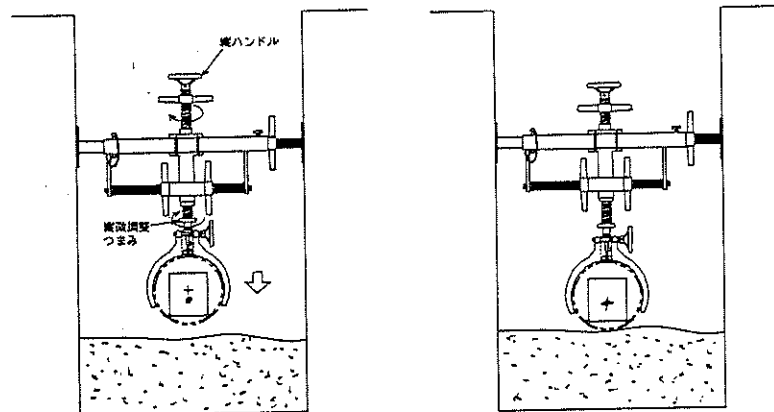
### ① 管を上へ移動する

- 縦ハンドルを時計と反対方向へ回し、指示された位置の近くまで動かし、微調整は縦微調整つまみによって行う。

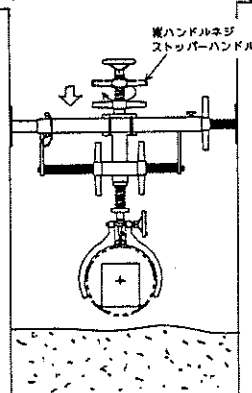


### ② 管を下へ移動する

- 縦ハンドルを時計の方向に回し、指示された位置の近くまで移動し、微調整は縦微調整つまみによって行う。



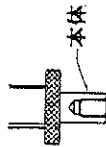
### ③ 調整が終わったら、縦スライドネジストッパーハンドルを締めて固定する。



※ 突っ張りバーがある程度水平にセットされていないと、管の上下調整後、多少管が左右の位置ずれを起こす事がありますが、横への微調整で簡単に直ります

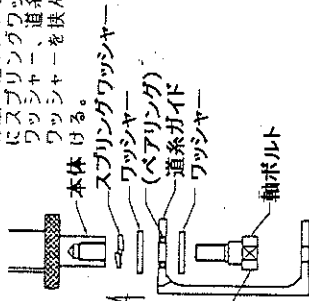
☆ 道系対応を取付ける場合の組立手順(新規講入の場合)

①



(お客様に納品された状態)

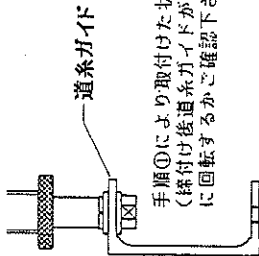
②



付属の軸ボルトを本体側  
にスプリングワッシャー、  
ワッシャー、道系ガイド  
ワッシャーを挟んで締付  
ける。

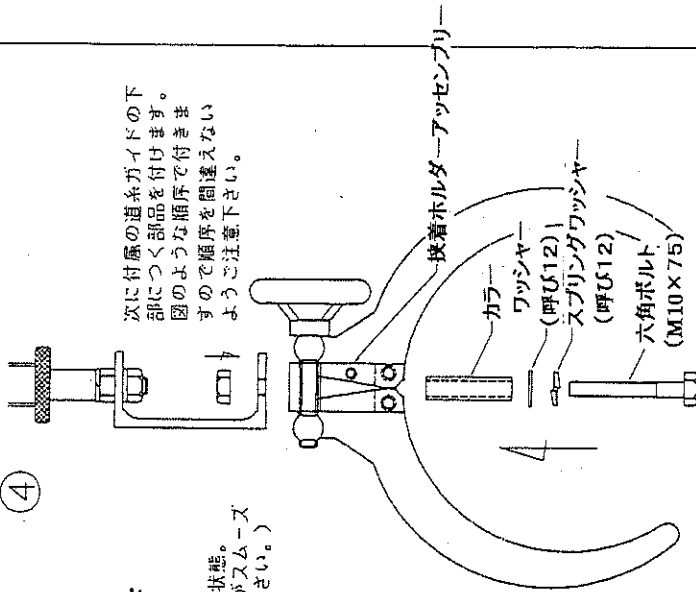
この部分にスバナ  
をセットする

③



手順①により取付けられた状態。  
(締付け後道系ガイドがスムーズ  
に回転するかご確認ください。)

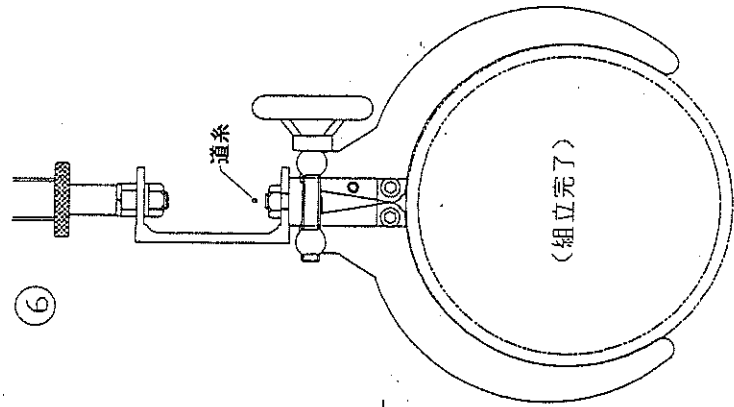
④



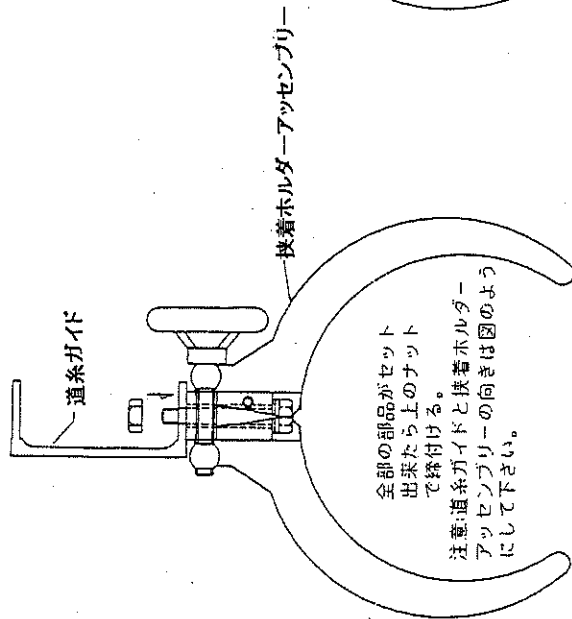
次に付属の道系ガイドの下  
部につく部品を付けます。  
図のような順序で付きま  
すので順序を間違えない  
ようご注意ください。

事前にボルトにスプリングワッシャー、  
ワッシャー、カラの順に入れておく。

⑥



⑤



全部の部品がセット  
出来たら上のナット  
で締付ける。

注意:道系ガイドと扶着ホルダー  
アッセンブリーの向きは図のよう  
にして下さい。

※注意事項※

1. 用途外（本機は塩ビ管専用です）のものには絶対に使用しないで下さい。
2. 絶対に本体バーの上に乗らないで下さい。
3. 御使用上、異常又は御不明な点が御座いましたら必ずメーカー、又は販売店にお問い合わせ下さい。

※ 以上の使用方法、注意事項をお守り下さい。

使用上の注意を怠った場合又は、本機欠陥以外による原因で、万一事故等が発生した場合、保証の対象となりませんのであらかじめ御了承下さい。

お問い合わせ先

SAN・KYO TRADING CO., LTD.

〒197-0813 東京都あきる野市平沢東 1-3-8

TEL 042-558-2111 FAX 042-559-7777